



主な内容

- みんなで取り組む課題----- 2
- お知らせ ----- 3
- 京都支部第22回定期大会----- 4、5
- ひろば ----- 6、7
- 事業団・高齢者・ヘルパー交流集会8
- 西から東から(京都高齢者大会)--- 9
- 社会保障情報 ----- 10
- 行楽(瀬田川洗堰、石山寺散策)--- 11
- 編集後記、まちがいさがし答え----- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

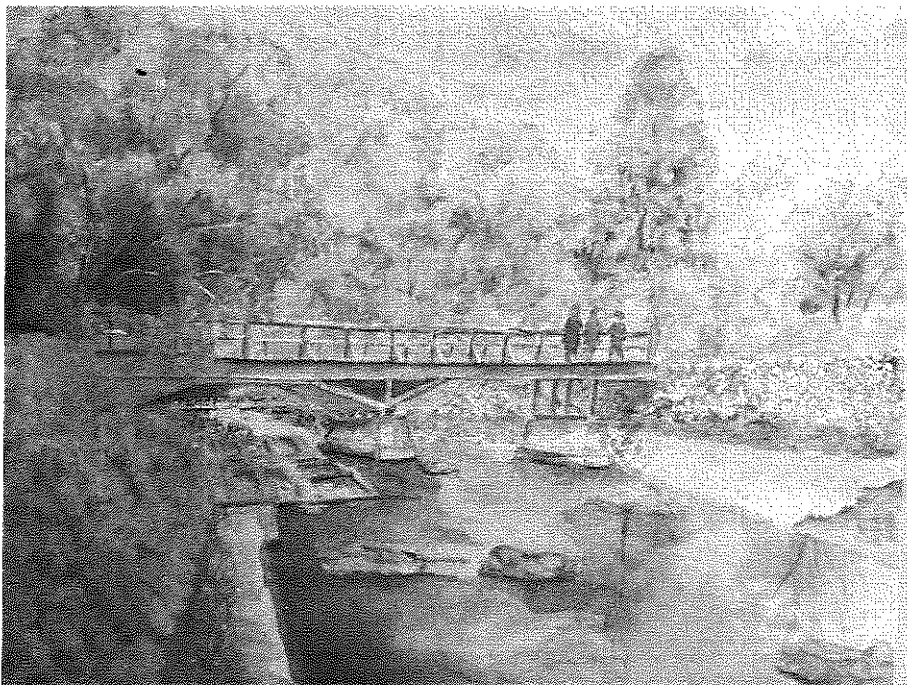
京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

TEL075-691-1007 Fax671-1641

Eメール=kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月5日 一部30円

NO. 272 (2018年)11月号



八瀬の溪流

上林 常哲

### お知らせ

## 全国の「高齢者」「介護」要求アンケート にご協力を

建交労では全国共通の「高齢者」「介護」の要求アンケートを取り組んで組合員全員が記入・回収に協力をお願いします。国や自治体要請等の貴重な資料となります。  
※京都支部または各事業所に提出して下さい。



### 第6回京都

### 団結・交流まつり

企画 ステージ、模擬店、大抽選会、など  
場所 六孫王神社  
(南区壬生通り八条角)  
日時 11月23日(日)  
10時30分～  
参加協力券  
京都支部にあります。

建交労京都府本部・女性部

### 秋の宣伝行動

日時=11月9日(金)  
12時～  
場所=四条烏丸西南側に集合  
(元・京都産業会館前)



- ◆宣伝行動の後、食事をしながら楽しくおしゃべりを。
- ◆参加できる方は、木村(ワークセンター)、藤原(京都高齢者福祉事業団)までお知らせ下さい。

守れ！いのちと暮らし、雇用と営業

## 18年秋の府市民総行動

11月15日(木)  
京都市行動

- 8:15～市役所前早朝宣伝
- 12:00～昼休み市役所包囲デモ
- 13:00～代表による要請

11月28日(水)  
京都府行動

- 8:10～府庁前早朝宣伝
- 12:00～昼休み街頭演説会と府庁包囲デモ
- 13:00～個人請願及び代表による要請

＝組合員のみなさんは午後の行動からの参加を＝  
(参加できる方は組合へ事前にお知らせ下さい)

## みんなでき取り組む課題

### 京都支部

第12回支部執行委員会が10月17日に開催されました。

- 1、建交労、事業団・高齢者部会運動の取り組み結果
- ①全国事業団高齢者部会第1回幹事会 10月12日～13日(中村)
- ②第56回事業団・高齢者・ヘルパー介護運動交流会 10月13日～14日、三重・松阪(京都から3人参加)
- 2、京都支部・第22回定期大会結果について
- ①大会議案について  
1号議案 経過報告、方針案。2号議案 決算報告・会計監査報告。3号議案 予算案。次期支部役員、大会宣言案、大会日程案などを確認。
- ②議案説明の職場集会 10月3日～16日まで、延べ11回行ったが、今期の参加者は60名と少なかった。
- 3、建交労、府本部、部会の取り組み
- ①秋の統一宣伝行動 10月25日(木)  
早朝街頭宣伝 午前8時～9時・3カ所  
京都支部は、近鉄十条駅を担当。
- ②建交労中央要請行動  
11月8日(木)午前10時 東京・国土交通省前集合
- ③建交労近畿地協②定期総会 11月17日【詳細後日】
- ④要求アンケートの取り組み  
○期間 11月～12月末  
○目標 300人集約をめざす。  
○方法 職場集会の折に時間を取り、訴える。「仲間」に折り込んで周知を徹底する。
- 4、京都総評の秋の取り組み  
①全ての争議の勝利めざして 京都団結・交流まつり  
11月23日(金・休日) 午前11時～15時  
六孫王神社【自主参加】
- ②秋の府市民総行動 11月15日(木) 12時～団体代表による要請  
京都府 11月28日(水) 12時～デモと個人請願、要請
- 5、高運連の取り組み  
自治体へ「2018年高齢者が求める要望」提出。  
懇談日 京都府 11月8日(木)、京都市 未定
- 6、その他  
○11・3憲法集会 in 京都 11月3日・円山野外音楽堂  
●大会後の執行委員会の開催予定  
第1回 11月21日(水) 午後2時から

が18年度方針案と、第2号議案の決算報告、第3号議案の18年度予算案の提案、会計監査報告は原田会計監査が行いました。

昼食休憩の後、討論が行われ、松永書記長がまとめを行いました。続いて、1号から3号議案について挙手にて採決を行い、全議案が全員一致で採択されました。新役員選挙では、信任投票となり、無記名投票の結果、全員が信任されました。最後に望月執行委員が読み上げた大会宣言案を拍手で採択し、木ノ下副委員長が閉会挨拶を行い、中村委員長の音頭でガンパローを三唱して終了しました。

大会と、議案説明の職場集会で

京都支部・2018年度役員

役職	氏名	所属
委員長	中村 崇	再 組合専従
副委員長	木ノ下 貴之	再 京都事業団
副委員長	中井 正	再 ソシム京都
書記長	松永 雅明	再 京都事業団
書記次長	山内 登	再 ワークセンター
執行委員	青木 弘毅	再 京都事業団
執行委員	洗 宣子	再 京都事業団
執行委員	北尾 孝次	再 京都事業団
執行委員	木村 徹	再 京都事業団
執行委員	小林 義治	再 宇治分会
執行委員	松本 恵美子	再 京都事業団
執行委員	望月 美佐子	再 京都事業団
執行委員	焼山 虎治	再 ソバ-西浦
執行委員	山田 憲治	再 京都事業団
執行委員	山田 俊彦	再 ソバ-西浦
執行委員	山口 光夫	再 京都事業団
執行委員	山本 潔	再 宇治分会
会計監査	原田 康正	再 ワークセンター
会計監査	山岡 春雄	再 京都事業団

□今大会で中路米蔵さんが退任されました。ご苦勞様でした。



左から 原田、木村、望月、焼山、北尾、青木、山田、山田、小林、松本、洗、中村、山本の執行委員の皆さん

失業と貧乏と戦争に反対し 公的就労事業の確立を  
悪政を止めて 憲法と平和と民主主義を守り抜こう！

建交労京都支部第22回定期大会—10月27日

挨拶する中村委員長



ました。され最

- ▽ 建交労京都支部の第22回定期大会が、10月27日京都高齢者会館で代議員26名、執行役員18名が出席して開催されました。今年の大会では、高齢者・失業者の就労促進
- ▽ 介護労働者の処遇改善など要求実現、組織の拡大・強化
- ▽ 運動と事業を強めることを確認し、提案された全議案が採択され新執行部が選出されました。

大会は、中井副委員長が挨拶、中村委員長が挨拶【別稿】を述べて、続いて来賓挨拶として、府本部の早田書記長は、建交労の「失業と貧乏と戦争に反対する」を柱にたたかってきたこと、この間の首長選挙で共同・共闘が大事であること、総評の生活実態調査などを強調。京都高齢者福祉事業団の斎藤理事長は、人手不足の状況を改善しなければならぬこと、多くの高齢者に働く場を確保し、事業団に来て働いてよかつたといえる状況を作りたいたいと強調。日本共産党の井上京都市会議員は、京都市行政の問題、大山崎町の町長選挙での勝利、憲法改悪の動きや

来賓の方々や寄せられたメッセージ

(◎川来賓、○メッセージ)

- ◎建交労京都支部本部・早田書記長、
- ◎京都高齢者福祉事業団・斎藤理事長、
- ◎日本共産党・井上市会議員。
- 建交労中央本部・全国事業団高齢者部会、
- 建交労関西合同支部、
- 宇治高齢者事業団、
- 南年金者組合、
- 南区生活と健康を守る会、
- 日本共産党国会議員団。

消費税10%への引き上げの問題などを指摘されました。

議事に  
入って、  
また名が  
書記長か  
ら第1号  
議案の17  
年度た  
たの経  
過報告を  
行い、中  
村委員長



左から、山口、松永、木ノ下、中井、山内の執行委員の皆さん

出された主な発言は次の通りです。

◇ワークセンターの取り組みの状況。◇日本は憲法で「戦争放棄」を謳っている。◇改憲の動きに対して京都支部の取り組みは。◇沖繩のたまたかいを教訓に。◇消費税を上げるなんてとんでもないことだ。◇宇治市の委員会に駐輪場の指定管理を応募制にする案が出されているが。◇人材不足と聞いているが集まらないのはなぜか。

◇事業団で働く魅力を作らねば。

◇有給休暇が使いやすくなったの

は良いが条件を良くしては。◇仕事があっても人が来ない。75歳定年制を見直しなどは。などでした。

新執行部です。おめでとう



# ひろば

第56回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集會に参加して

ソート シヤル・ワークセンター 山内 登

集會は、15都道府県から85名が参加しました。

議事は特別報告と3つの分科会、翌日は映画「ここに生きる」の上演後に記念公演がありました。

記念公演は上方芸能評論家の木津川 計さんのお話を聞き、その後分科会のまとめ報告を受けて集會は終了しました。

特別報告で印象に残ったお話は広島在住の廣木昭代さん「私の戦争体験今、伝えなければ」焼夷弾の降るなかを必死ににげて、でした。廣木さんは徳山海軍燃料廠に軍属として働いていました。空襲にあつたときは「工員全員燃料廠を死守せよ」の放送もありました。二回目の空襲の時は弟をリックにバックに背負って逃げた事も有りま



会場風景

した。二回の空襲を受けて人の命は大事、戦争は絶対あつてはいけないと強く感じました、その後結婚して失対事業に入り現在もシルバ人材センターに登録して公園清掃を行つてやります。現在91歳でパワフルな女性のイメージが有りました。

分科会は「事業団運営について」に入りました。参加者から職場実態の報告があり、全体に共通している課題は人材が不足しているとの事でした。西宮ではハローワークに「リクセス求人」の制度を活用して人材を確保している。また、せつかく入社された方が辞めないうように福利厚生を豊かにしたり休憩場所も快適な施設にする。など、多くの所で苦心されている経験が出されました。

記念公演は木津川 計さんの「笑いのチカラ」人を結びつけるもの「お話でした。大阪のしゃれことばで「いかきに小便」は「いかき」は「かご」の事なので幾ら稼いでも全部漏れて儲からないしやれことばや「高野山へ行く」はトイレに行くこと。「五合徳利」一升はつまらん↓面白くない話など大阪でのしゃれ言葉を紹介され、基本は笑い

・しゃれ等を大事にし、シカメツツラやにがい顔をしても職場はよくならない「わらいを大切に」日々過ごすことが大事と話されました。最後に分科会の報告や全体のまとめを報告されて集會は終了しました。

## 「川柳」

京都高齢者福祉事業団・OB

池田 東一

嗟峨の朝 ダイヤに光る 稲の露  
稲の穂を 揺らして走る 風の波  
弟の 汗が届いた 今年米  
箱入りで 二十世紀が 嫁に來た  
夜店から 子等と金魚が 知恵くらべ  
恋心 芽生えて伸びる 生命線  
聴診器 女医さんだから 胸騒ぐ  
男だよ 裏表有る 夜の道  
人力車 日焼けた車夫の 健康美  
大塚は タンス預金が 底をつき  
節電の 心折られた 今年夏  
高齢者 心の隙間 狙う詐欺  
丸付けた 曆の丸は 何んだっけ  
人の波 泳ぎ世渡り 着く八十路  
波を聞く 異国で散った 兵の声

## 暮らしたおもしろ

◆照明器具本体も劣化する

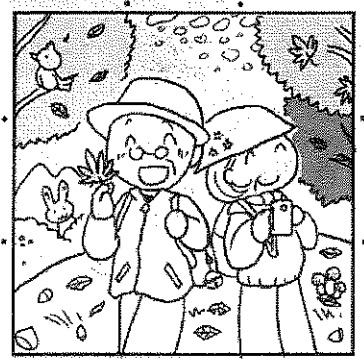
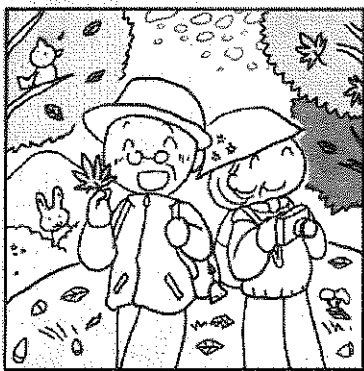
日が短くなり照明器具を使う時間が長くなります。蛍光灯、LED灯など、どのタイプにせよ、照明器具本体も経年劣化することを知っておきましよう。10年過ぎると、部品が劣化して発煙・発火することがあります。日本照明工業会が、次のような異常があつたら危険なので使用を中止し、新しい照明器具に交

換するよう、アドバイスしています。スイッチを入れたら点灯しないことがある、本体を動かすと点滅する、こげくさい臭いがする、ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる、ちらつきが頻繁に生じる、器具取付部にゆるみがある等々。

★原稿募集★  
趣味、暮らし、仕事、家族、意見などを「ひろば」に書いて下さい。  
＝編集部＝

## 11月のまちがいがし

まちがいが8カ所。さて、どこに？ 答えは12ページ



**京都高齢者福祉事業団**  
**「団員研修」が行われます**  
京都高齢者福祉事業団では下記の日程で、新入団員研修が行われ、積極的な参加を呼び掛けています。

【日時】  
11月29日(木) 午後2時～  
11月30日(金) 午後2時～

【会場】  
京都高齢者会館 4階ホール

**未加入者への説明会**  
建交労京都支部と高齢者会館 共済会も研修の後、未加入者への説明会を行います。積極的な声掛けをお願いします。

# 第56回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会 運動や事業の経験を交流

▽ 今回の交流集会是、10月13日と14日と三重・松阪市で15都道府△  
▽ 県から建交労の事業団、介護の運動・事業に携わる85名が参加し△  
▽ て開催され、京都から幹事含めて3名が参加しました。△

集会の1日目は安藤副部会長の開会挨拶で始まり、中村部会長から新しい幹事会への協力要請と、高齢者・事業団・介護ヘルパー運動の前進のため討論を深めることを呼びかけての挨拶が行われました。今年是最初に特別報告で、①国連高齢化に関する会議報告。②生活困窮者自立支援法の新たな活用について。③広島島の廣木昭代さんからの仕事を通しての団結の重要性。を3人からの報告が行われました。その後、①事業団

集会参加の紹介で(山内、松永、中村)



などに紹介がされ、また、三重の事業団の皆さんの出し物と、沖繩の當間さんの指導の下の幹事会からの出し物と賑やかに交流が行われました。

2日目は、最初に、戦後の全日自労の活動を紹介した映画「ここに生きる」が



講演する 木津川先生

上映されました。続いて、記念講演で木津川計立命館大学名誉教授から「笑いはチカラ」人を結び付けるもの」と題して話され、その中で、笑いは「社会の高揚期に起こる」今は笑えない状況」「笑える社会のため、団結を」と話されました。先生は、若いころ三池炭鉱で活動され、全日自労などの活動を見てこれ、全日自労の活動の一端も紹介されました。続いて3つの分科会から、それぞれ厳しい中で創意工夫して取り組まれていることが交流できたことが報告されました。

最後に、山室事務局長から全体の簡単なまとめが行われ、来年は東京で開催することが確認され、中村部会長の「団結がんばろう」で締めくくって終了しました。

人が人として生きるため、  
世代を超えて手をつなごう  
21世紀第18回京都高齢者大会

今年の京都高齢者大会は、10月20日、ラポール京都で開催されました。午前中は、7分科会と1学習講座が開かれ、午後は、オープニングで「おこうおばさんの平和の祈り」と題した構成劇と、「人生百年時代の新老人」と題し吉中丈志さんの記念講演が行われました。そのあと、四条大宮までパレードをして市民にアピールしました。

午前中の分科会では、第4分科会「高齢者の仕事と生きがい」を建交労京都支部・京都高齢者福祉事業団・くらしコープが担当して、

## 西からから東から

佛敎大学名誉敎授の浜岡先生に助言者として報告して頂きました。その中で「生



パレードする高齢者の皆さん

涯現役社会」「高齢社会政策大綱」など、安倍自公政権が高齢者への負担増を強めていることなどを明らかにし、高齢者が声を大にして取り組むことが大事とまこと意見交換を行いました。

午後6時の記念講演は吉中先生が、医師の立場から「元気な老人が増えてきた実感 新老人の時代」と話され、①後で変化を突き付けられるのではなく、今変化を予測して行動しよう。②お金偏重の人生を根本から変える。成長至上の次に来る、新しい生き方。多くの資料やデータを紹介しながら話され、最後に「諦めたらあかん！ほどほどに！自立！人の力を借りる！年相応に！若返り志向！自分の体に耳を傾ける！」と話されました。

### 集会での川口さんのミニライブ



調されました。この後、川口真由美さんのミニライブが行われ、市役所前までデモが行われました。

■「憲法集会in京都」  
11月3日午後、円山音楽堂において「生かそう憲法守ろう9条」を柱に集会在2200人の参加で開催されました。野党共闘を呼び掛けている「市民連合」の東京大学名誉教授・広渡清吾さんが講演を行われ、その中で、安倍首相は憲法を無視して軍事を政治の主流にしようとしている。沖繩の民意を無視して辺野古に新基地を強行しようとしている。来年の参院選では市民と野党の共闘で立憲野党の姿を示すことが重要。などと強調されました。

### 社会保障情報

11月8日の中央要請行動の要請内容を掲載します。

1、「保険あつて介護なし」「介護難民」と言われる状態を即刻改善し、利用者にとつて必要なサービスが安心して利用できる介護保険制度にするこ

明らかにすること。利用者や事業者(通所・訪問)への影響、経営状況、介護職員の賃金にどのような影響があったのか明らかにすること。⑤新たに2019年10月に消費税を増税する際は消費税課税化しないこと。⑥いま検討されている勤続10年以上を対象とする介護職員の賃金改善について、勤続10年未満についても同様の措置をすること。⑦介護の市場化で競争が激化し、採算のとれる人口密集地にサービス事業所が偏り、疎地域では希望するサービスが利用できないこともある。実態調査を行い介護報酬による対策等の是正策を講じること。

2、介護に従事する人材確保に対する対策を抜本的に確立すること。ケアマネジャーや介護職員等の賃金を大幅に改善できる具体的で抜本的な対策を講じること。

①介護職員の賃金は、他の産業に比較して依然として月額9万円程度下回っている状態が続いている。現行の「処遇改善加算方式」ではなく、全額国庫負担にし、基本賃金が毎年引き上がる仕組みを事業所の労使間協議に委ねるのではなく、国の責任

において予算化すること。その際の賃金の積算根拠は国家公務員賃金を基準にすること。②訪問介護事業所での人材確保は深刻で、求人募集を出しても応募してくる人がほとんどない実態が続いている。訪問介護は有資格者でなければ従事できず、また、在宅での1対1での対人援助で、より専門性と責任が求められる職種であり、国として在宅援助の人材確保のための抜本的な特別対策を早急に講じること。③訪問介護およびデイサービス等について、休日・祝日加算を新設すること。④居宅介護支援業務に対しての報酬を改善し、国または自治体がケアマネジャーの身分を保障、安定させることで公正、中立な立場で業務を遂行できるようにすること。⑤外国人労働者(介護人材)について、安い労働力として導入し日本人労働者の賃金低下が危惧される。実態を調査して明らかにするとともに、そういった事実がある場合は早急に対策を行うこと。

3. サービス事業所の事業運営が安定的に継続できるようにする。

【この項の要請内容は、誌面の都合で、次号に掲載します。】

### 行楽

瀬田川(なごい)のぼ道

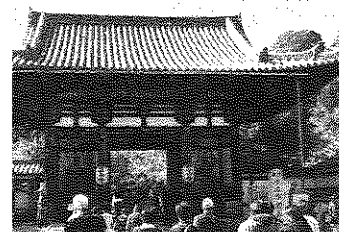
#### 瀬田川洗堰、石山寺散策

京都支部 中村 崇

今回は石山寺の方面へ出向いてみました。空は快晴で暑さを感じる秋。地下鉄・京阪京津線を乗り継いで「石山寺駅」へ。降り立つと目の前は広い瀬田川がゆつくりと流れ、ボートが流れに逆らって過ぎていくこの道は、「瀬田ぐるりさんぽ道」で、毎年行われている「毎日マラソン」のコースともなっています。

お寺は後にして、この道を瀬田川に沿って「瀬田川洗堰」に向かうことにしました。少し歩くと「琵琶湖リパークルーズ」の船乗り場があり、乗船客を待っていた。3kmほど歩くと「瀬田の洗堰」に到着。洗堰は1905年に「南郷洗堰」としてつくられ、後の1961年に現在の「瀬田川洗堰」となり、琵琶湖と淀川を結び下流の京阪地域の治水・渇水時の流量調整に活躍しています。せつかくですから「水のめぐみ館・アークア琵琶」に立ち寄り、歴史をはじめ、治水・利水について勉強してきました。南郷水産センターでは、琵琶湖の多くの魚が展示されその場で釣りを楽しむこともでき、家族連れが多く楽しんでいました。お昼に

瀬田川洗堰



石山寺東大門

少し早かったのですが、そこで「鱒の親子丼」鱒の切り身をご飯に乗せ、醤油漬けの卵をたっぷり乗せたもので珍味の一つでした。食後、対岸の毎日マラソンコースを川面の景色や石山寺の緩やかな山並みを眺めながら瀬田の唐橋まで歩き、元の石山寺に戻ってきました。

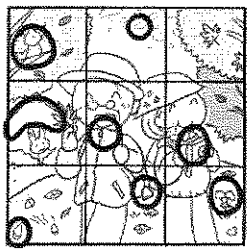
石山寺は、真言宗の大本山で「寺は石山、仏は如意輪」と云われ、観世音菩薩を祀り、奈良時代より広く信仰されています。寺名の由来は、礎灰石(天然記念物)の上に堂宇が建てられているところからきています。この観音様は京都の清水寺、奈良の長谷寺と並び「三観音」と言われていることでも知られています。

東大門の両脇には鎌倉時代の「運慶、湛慶」の作と伝えられる仁王像が、力強く並んでいます。門をくぐり参道を歩くとモミジのまだ青い葉が目に入りました。2千本からあり、11月の紅葉の時期はきれいだらうなと思いつながらよく見ると桜、ツツジ、シヤクナゲと沢山の種類の木々が並んでいました。パンフを見ると44力所からのお堂や建物、碑、銅像があると書かれており、これは短時間では無理と、目にしておきたいと思う「蓮如堂、本堂、御影堂、鐘楼、多宝塔、経蔵」などを見て歩くにとどめました。次に来るときは、石山寺のみの予定にすべきと感じながら岐路につきました。



## 編集 後記

◇京都支部の定期大会が無事終わり、ホツとしている。これで、今年の大会（建交労中央本部、京都府本部、事業団・高齢者・介護ヘルパー交流集会、京都高齢者大会）関係が終了したことになる。◇再び日常の作業に戻るのだが、手始めに機関誌「仲間」の編集・制作作業だ。これが、書き手が少なくなり苦慮している。「仲間」が創刊されたのは、1996年4月「全日自労建設一般京都府本部」の執行委員会において「機関誌・高齢者版」として発行が確認された。◇発刊にあたっての文書に「仲間がどんな仕事をしているのか、どんな活動しているのかよくわから



ない。しかも高齢者の就労運動はますます重要になって、みんなが団結して『高齢者の就労保障と、就労条件の引き上げをさせなければならぬ』とき、その要となる機関誌を発行しよう」と書かれている。◇中央本部の機関誌コンクールで「取り組む課題、仲間の声、行楽、クイズなど文化的話題も豊富ですし、社会保障情報の連載も感心。総合的な誌面として高く評価します」とお褒めの言葉をいただいているが、内実は大変なのである。◇次の担い手となる「書き手」が現れなければ、高い志があっても、高く評価されても切れてしまうのだ。そうさせないためにも引き続き組合員の協力を願って継続させたもの。（中村）